

CPS基盤CGの紹介

村上真也 <murashin@cps-jp.org>

惑星科学研究センター(CPS)とは

- 惑星科学分野の共同利用センターの一つ
 - 様々な研究・教育活動を支援する
 - 研究会やスクールプログラムの開催、セミナーの中継などを支援
 - 知見情報のアーカイブを行い広く公開
 - 場を提供することで人々の交流を促進する
- 5つのコーディネーショングループ
 - 教育研究CG、基盤CG、国際連携CG、社会交流CG、将来構想CG

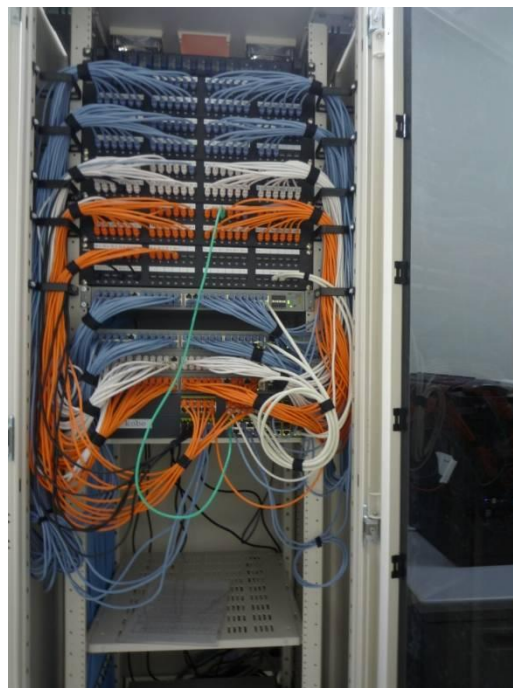
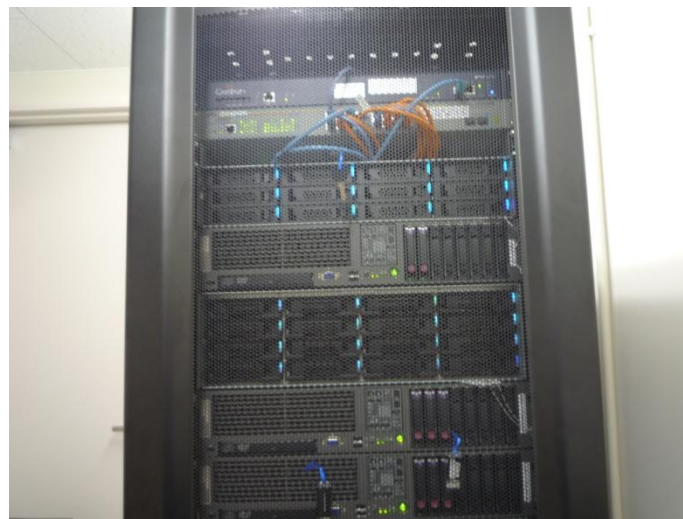
CPS基盤CGとは

- 惑星科学分野で共通利用可能なソフトウェアの開発
 - CMS(コンテンツマネジメントシステム)
 - データ可視化ソフトウェア
 - 惑星大気大循環モデル
- 知見情報アーカイブ
- CPSの活動に必要なサーバーの運営

計算情報関係のインフラ整備全般を担当

CPSサーバー

- 構成
 - サーバ×6台@北大、3台@神戸大
 - ご本尊1台、他は同期/テスト/バックアップ/mosirサーバ
- 使われているソフトウェア
 - Debian lenny
 - Xoops , Apache, Postfix, OpenLDAP, MySQL, Cyrus-sasl, Subversion, HikiWiki, Courier-imap, fml, MHonArc, Namazu
- URL: <http://www.cps-jp.org>



サーバ室の機材たち

ITPASSとCPS基盤CGの関係

- 基盤CGで活躍できる人材をITPASSが育成することを期待
 - 人材育成のためにITPASSの活動を支援している
- これまでのITPASS関係者でCPSのRAの人たち
 - 森川靖大氏、佐々木洋平氏、納多哲史氏、村上
 - 後に続く人たちが必要